

2021年6月22日

大阪経済記者クラブ会員各位

(同時配付先：学研都市記者クラブ、京都府政記者クラブ、
奈良県政記者クラブ、京都経済記者クラブ)

公益社団法人 関西経済連合会
公益財団法人 関西文化学術研究都市推進機構
株式会社けいはんな

<けいはんな学研都市発スタートアップが集結>
関経連×けいはんなオープンイノベーションフォーラム 2021 開催のご案内

関西経済連合会、関西文化学術研究都市推進機構、(株)けいはんなは、7月9日(金)に「関経連×けいはんなオープンイノベーションフォーラム」を開催します。(新型コロナウイルスの影響により、4月26日から延期)

関西経済のさらなる成長のためには、研究開発型のベンチャー企業と大企業との協業が進み、イノベーションを創出していくことが重要です。そこで、大学や研究機関等が多数立地する「けいはんな学研都市」発の優れた技術を有するベンチャー企業に自社の技術やサービスを紹介いただくフォーラムを開催いたします。関経連が主催する本フォーラムは、昨年の京都大学、大阪大学に続き3回目の開催となります。今回は、オンラインにて海外のベンチャー企業2社も参加を予定しております。

記者の皆さまにおかれましては、ぜひご取材いただきますようお願い申し上げます。

記

1. 日 時 2021年7月9日(金) 13:00~15:00(開場12:30)
2. 場 所 グランフロント大阪ナレッジキャピタルコングレコンベンションセンター
(大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪 北館 B2F)
3. 主 催 公益社団法人関西経済連合会
公益財団法人関西文化学術研究都市推進機構、株式会社けいはんな
4. 共 催 関西イノベーションイニシアティブ(代表幹事機関 公益財団法人都市活力研究所)
5. プログラム
13:00-13:05 開会挨拶 関西経済連合会会長 松本 正義
関西文化学術研究都市推進機構理事長 堀場 厚
13:05-13:15 けいはんな学研都市におけるベンチャー育成の取り組み
国際電気通信基礎技術研究所(ATR)代表取締役専務 鈴木 博之
13:15-14:55 スタートアップ企業紹介
企業プレゼンテーション 11社 ※参加企業は別添資料参照
14:55-15:00 閉会挨拶 関西経済連合会ベンチャー・エコシステム委員長 澤田 拓子
6. 取 材 1) 本シンポジウムはプレスフルオープンです。
2) 会場準備の都合上、取材希望の方は事前にご登録お願い致します。
取材申込書に必要事項を記入の上、メール・FAXにてご連絡お願い致します。
3) 新型コロナウイルス感染症への対応のため、取材人数を調整させて頂く場合がございます。予めご了承下さい。

以上

<本件に関するお問合せ先>

公益社団法人関西経済連合会 企画広報部 徳永・吉田 TEL:06-6441-0105










FAX返信先：06-6443-5347（関経連 企画広報部 行）

メール返信先：k-tokunaga@kankeiren.or.jp（関経連・徳永）

7月7日(水) 17時締切

関経連×けいはんなオープンイノベーションフォーラム 2021(7月9日)
取材申込書

<貴社名>	
<所属・氏名>	
	計 名
<ご連絡先>（複数名申込みの場合は、代表者1名分で結構です）	
電 話：	
<カメラ撮影> 別途撮影スタッフが来られる場合は、以下にもご記入ください	
<input type="checkbox"/> スチールカメラ _____ 台	<input type="checkbox"/> テレビカメラ _____ 台
<カメラスタッフ氏名>	
	計 名

番号	分類	社名・URL	事業概要
1	ヘルスケア/医療	 スマートスキャン株式会社 https://smartscan.co.jp/	「予防医療をてがける医療施設をサポートし、“未病”の世界観を世界中のひとつに普及させること」をミッションに、医療の現場のIT化を徹底的に行うことによって、低価格で誰でも簡単に利用できる自費診断の脳ドック健診サービス「スマート脳ドック」を提供するクリニックをプロデュースしています。さらに誰もが健康で病気にならない世界を目指し、ウェルネスデータプラットフォームの構築を行っていきます。
2	AI	 Deeplite Inc. https://www.deeplite.ai/	AIエンジニアに自動的により速く、小さく、そして効率的なモデルアーキテクチャの設計を可能とし、エッジデバイスのAIアプリケーションやディープニューラルネットワークの製品化を加速するオンプレミスソフトウェアを提供するカナダのスタートアップです。製造工場での故障検知や目視検査、自動運転車における物体認識などに加えて、マスク着用者の探知、発熱者探知などコロナ対策AIアプリケーションの開発を促進しています。 ※カナダよりオンライン参加
3	建設 テック /製造	 Ethereal Machines Pvt. Ltd. https://www.indiamart.com/ethereal-machines-bengaluru/	航空宇宙、自動車、医療、防衛、エレクトロニクス、プラスチック加工および一般エンジニアリング向けの5軸CNC加工機の製造に取り組む、インドを拠点とするディープテックスタートアップです。非鉄金属、非金属、プラスチック等に使用可能で小型およびマイクロコンポーネントの製造に最適な、小型5軸CNC加工機である「Ethereal HALO」を主力製品としています。 ※インドよりオンライン参加
4	交流電池/環境	 AC Biode株式会社 https://www.acbiode.com/	化学、材料科学をベースにしたスタートアップで主に2つ事業があり、1) モビリティ、蓄電向け交流電池と付随する回路の研究開発、2) プラスチックごみを約300°Cの低温で半永久的にモノマーにケミカルリサイクルする化学触媒の研究開発を行っております。欧州連合EU傘下EIT InnoEnergyより出資を受けています。
5	環境エネルギー	 イーセップ株式会社 https://esep.kyoto	膜分離技術は環境・エネルギー分野で大幅な省エネ化や経済的創エネが可能な要素技術です。弊社では産学連携のオープンイノベーションにより膜分離技術の社会実装を推進しています。従来の分離膜にはない分子レベルの分離が可能な、高精密に細孔径を制御されたセラミック分離膜を製造しています。化学産業用途に利用可能な高い耐久性も併せ持ち、幅広い分離対象物質への対応と高い透過性（処理速度）を実現している点も特徴です。
6	モーター/ 自律移動ロボット	 株式会社Keigan https://keigan-motor.com/	素早く簡単に現場で使用できるモーターモジュール® KeiganMotorの開発・製造を行っています。今年より、障害物をスムーズに避けて荷物を搬送する自律移動ロボット（AMR）の発売も開始します。Keiganは「Quick and Easy Robot for Everyone」の理念のもと、人の役に立つロボットを簡単に、かつ瞬時につくることのできる仕組みを多くの人々に提供し、社会に貢献します。
7	化学製造業	 株式会社シーズリアクト https://www.sihreact.com/	2018年5月設立したベンチャー企業で、世界で初めて各種オイルに添加して、手でシェイクするだけで容易に分散する疎水化セルロースナノファイバー粉末（Op-CNF、Oleophilic Cellulose NanoFiber）『セロキサン®』を開発し、その製造・販売を行っています。セロキサン®は耐熱性も高いため、各種樹脂との高温混練も可能で、所望の機能を付与できます。「これまでにない『新しい』をつくる」をモットーに日々挑戦しています。
8	情報通信	 株式会社dTosh https://www.dtosh.com/	オンライン教育サービス事業とオンライン教育向けシステム開発事業に取り組むベンチャーです。弊社開発の「オンライン教育プラットフォームChameleon」とこのシステムを用いたオンライン研修事業は様々なメディアにて報道されています。 現在の主流であるビデオ会議システムを用いての講義形態のようなオフラインでやっていたことをオンラインに取り替えただけの講義ではなく、オンラインだからこそできる新たな講義手法の拡散と教育業界の変革を目指しています。
9	生分解樹脂	 Bioworks株式会社 https://bioworks.co.jp/company/	当社は生分解かつ天然由来のポリ乳酸改質剤を開発し、この改質剤により使いにくい樹脂とされてきたポリ乳酸を実用レベルまで引き上げ、繊維や食器、カトラリー、コップ、袋、容器等あらゆる用途への展開が可能となりました。特に、新しい繊維として、これまでポリ乳酸で進出できていなかったアパレル製品等への利用が可能です。 弊社では資金調達と共に、繊維製品関連の事業者様とのコラボレーションを希望しています。
10	空中映像	 株式会社パリティ・イノベーションズ https://www.piq.co.jp/	空中映像を実現する光学素子パリティミラーの開発・販売に取り組むベンチャーです。背面に置いたものを何でも空中映像化できる魔法の鏡であり、センサーを組み合わせることで空中スイッチ、空中タッチパネルが簡単に実現できます。非接触のユーザーインターフェースですので、感染症対策にも効果的です。さらに、空中映像は現実空間に現れる仮想映像であり、AR・MRの次世代技術である現実拡張技術として利用可能となります。
11	溶融塩電気化学	 アイ・エムセップ株式会社 http://www.imsep.co.jp/	当社は、「溶融塩電気化学プロセス（MSEP）」をコア技術とする研究開発型ベンチャー企業です。環境・エネルギー・資源、ナノテクノロジーの分野に貢献する「炭素めっき」、「アンモニア電解合成」、「有価金属のリサイクル」、「機能性ナノ粒子の製造」などの事業化に取り組んでいます。「炭素めっき」については、製品が市場に出始めています。「アンモニア電解合成」については、革新的なグリーンテクノロジーとして国内外から大きな期待が寄せられています。